

本学会における注意点

本学会における注意点を以下に記載します。なお、詳細は次ページ以降をご覧ください。

- 1) 学会登録会場は展示ホールAです。事前参加登録は行っていません。
- 2) 平成25年度から、学会認定「放射線科専門医認定試験」受験並びに「放射線診断専門医」資格更新および「放射線治療専門医」資格更新に際して特定の講習会出席証明書の提出が義務づけられています。「放射線科専門医認定試験」受験の際は、「医療安全・放射線防護」および「医療倫理」に関する教育講演の受講が必要です。「放射線診断専門医」資格更新に際しては、「医療安全・放射線防護」、「医療倫理」および「医療の質：診断」に関する教育講演の受講が、「放射線治療専門医」資格更新に際しては、「医療安全・放射線防護」、「医療倫理」および「医療の質：治療」に関する教育講演の受講がそれぞれ必要です。詳細は、日本医学放射線学会ホームページの「専門医制度に関するお知らせ」から「放射線科専門医制度における必須講習会について」を選択し、ご確認ください。なお、これらの講習会は、総会に加え、秋季大会、JRS 地方会、JASTRO 学術集会、セミナーなどでも開催することがあります。
- 3) 日本専門医機構(以下、機構)による専門医制度が、平成30年度から開始されました。これに伴い、日本医学放射線学会(以下、学会)が認定する学会専門医制度から、機構が認定する機構専門医制度へ移行する措置が開始されます。現行の学会認定の制度では、「放射線科専門医(以下、学会専門医)」資格を取得した上で、放射線診断専門医(以下、学会診断専門医)資格または放射線治療専門医(以下、学会治療専門医)資格を取得した方に対して、5年後に所定の更新単位を満たした場合に学会診断専門医または学会治療専門医とともに、学会専門医資格を同時に自動更新してきました。機構が進めている新制度も基本領域(1階部分)とサブスペシヤルティ領域(2階部分)で構成され、現在の学会専門医制度と同様の構造になっています。すなわち、基本領域の放射線科専門医(以下、機構認定専門医)資格を取得後、サブスペシヤルティ領域の放射線診断専門医(以下、機構認定診断専門医)資格または放射線治療専門医(以下、機構認定治療専門医)資格を取得する形となる予定です。機構認定専門医の更新基準がすでに決定し、5年ごとに更新が行われることも学会専門医の更新と同様ですが、更新単位の取得方法が学会認定の更新とは大きく異なります。機構では学会専門医から機構認定専門医への移行措置として、学会の認定する学会診断専門医ならびに学会治療専門医の資格更新時に、機構認定専門医の更新基準を満たす方に対しては、学会専門医に代わり機構認定専門医資格を認定可能とすることになりました。ただし、移行措置期間における、機構認定専門医への更新は、学会診断専門医ならびに学会治療専門医でそれぞれの年度に更新条件を満たす方のみを対象としており、年度を前倒ししての更新は行いません。すなわち、年度ごとに、その年の更新該当者を順次認定していくことになります。したがって、機構認定専門医への移行を希望する場合も、診断専門医・治療専門医の更新は従来どおり学会認定ですので、学会の診断専門医・治療専門医資格の更新基準を満たしている必要があります。この点にご留意下さい。なお、学会の指定する期日に学会の更新基準を満たすものの機構が定める移行措置の条件を満たさない方は、従来の学会診断専門医または学会治療専門医としての更新と学会専門医の同時・自動更新をするか、または機構認定更新時期を延長することが可能です。(学会ホームページより抜粋)

今回、総会で開催されます①合同シンポジウム(2単位)、②シンポジウム・特別企画2時間未満(1単位)/2時間(2単位)、③教育講演1時間(1単位)/編集委員会の教育セッション(1単位)については、機構認定「放射線科専門医」(1階部分)を更新する際の単位取得対象講習会(放射線科領域講習)となります。日程表の中でグリーンのJRSマークが付いているセッションが対象です。機構認定の専門医共通必修講習会にはピンクのマークがついています。

専門医資格更新用の講習会出席証明手続きは、全て「会員ICカード」で行います。「会員ICカード」を忘れた方には仮のカードを発行致します。当日は紙による従来の証明書の発行は行いませんので、「会員ICカード」をお忘れにならないようご注意ください。

放射線科専門医・学会認定「放射線治療専門医」「放射線診断専門医」を更新する際に必要となる必須講習会

新講習科目	旧講習科目	放射線科専門医 受験資格	診断専門医 更新認定	治療専門医 更新認定
医療安全・放射線防護	安全管理1, 2 (被ばく・管理)	○	○	○
医療倫理	(新規)	○	○	○
医療の質：診断 (品質の管理・IT・遠隔画像)	医療の質(旧IT) 遠隔画像診断	×	○	×
医療の質：治療 (品質管理・ガイドライン・ 標準治療)	(新規)	×	×	○

○：必要， ×：不要 診断専門医：放射線診断専門医， 治療専門医：放射線治療専門医

開催予定については、日本医学放射線学会ホームページの「専門医制度」から「必須講習会・指導医講習会」を選択してご確認ください。

機構認定専門医移行への要件比較表

更新年度(更新時期が異なるのでご自分の更新時期がいつになるかをご確認ください)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
i) 診療実績の証明	最小 1 最大 4	最小 2 最大 6	最小 3 最大 8	最小 4 最大 10	最小 5 最大 10
ii) 専門医共通講習(必修講習)	最小 1 最大 4	最小 2 最大 6 (0)	最小 3 最大 8 (2以上)	最小 3 最大 10 (3以上)	最小 3 最大 10 (3以上)
iii) 放射線科領域講習	最小 2	最小 4	最小 6	最小 8	最小 10
iv) 学術業績・診療以外の活動業績	0~4	0~8	0~12	0~16	0~20
i)~iv)の合計単位	10	20*	30	40	50

一回の総会(4日間)で開催される機構認定の講習を受講することによって取得できる単位には上限があります。領域講習と共通講習を合わせて12単位です。

* 学会認定診断または治療専門医の更新年度が2019年の場合、2014年6月1日から2019年5月31日の5年間のうち、学会診断専門医または学会治療専門医の更新に必要となる3年分(学会更新の3/5)に準ずる条件と、新更新基準として直近2年分(2017年6月1日~2019年5月31日)の単位(勤務実態表、診療実績と講習を合わせた単位を3/5(20単位))とを満たせば、機構認定専門医の審査を受けることができます。以下詳細は学会HPの機構認定放射線科領域専門医更新基準をご覧ください。

** 日程表にJRSのブルーのマークがついているのは放射線科専門医・学会認定「放射線治療専門医」「放射線診断専門医」を更新する際に必要となる講習会です。JRSのグリーンのマークがついているのは機構認定放射線科領域専門医更新(1階部分)の対象となる講習となります。ピンクのJRSマークがついているのは機構認定の共通講習となります。ピンクのJRSマークがついているのは機構認定の共通講習となります。

- 4) 機構認定放射線科専門研修中の専攻医が研修期間中に受講すべき講習は以下の通りです。
- ・ 機構認定専門医共通講習(必修)については次の①②③
 - ①日医放必須講習と機構認定専門医共通講習を兼ねた「医療安全・放射線防護」
 - ②機構認定専門医共通講習「倫理」
 - ③機構認定専門医共通講習「感染」
 - ・ 機構認定放射線科領域講習を6単位
- (詳細は学会HP 専門医制度に関するお知らせ 2018年12月28日付 をご覧ください)
- 5) ランチョンセミナーは整理券を発券いたします。発券の際にバーコードを使用しますのでネームカードをご用意ください。
- 6) 総合プログラムアプリを用意しております。iOSとAndroidのスマートフォンやタブレットでダウンロードできます。プログラムの閲覧・検索や予定管理に加え、JRS会員限定で抄録の閲覧ができます。抄録閲覧の際にパスワードが必要となります。パスワードは学会ホームページ「会員専用ページ」より、ご確認下さい。今年度よりアプリ閲覧のパスワードは抄録集に挟み込んでおりませんので、ご了承ください。「会員専用ページ」をログインする際に、会員番号・パスワードが必要となりますので、あらかじめご確認下さい。
- 7) 4月12日(金)に開催する合同会員懇親会の会場は横浜ベイホテル東急の地下2階、クイーンズグラウンドボールルームです。参加にはネームカードの着用が必要です。
- 8) 一般演題の発表時のスライドおよびCyPosのスライドは英語表記となります。発表言語は指定がなければ日本語でも結構です。
- 9) 一般演題の発表用スライドは事前登録をお願いします。事前登録後、Web上で事前にプレビューを行っていただき、発表当日はそのまま会場へお越しください。
発表者用メモ表示(発表者ツールに相当する機能)が使用可能となっております。口演スライドの事前登録をする際に併せてぜひご利用ください。
- 10) すべての発表に利益相反の開示が義務付けられます。
- 11) PCプレビューセンターは展示ホールAと会議センター地下1階の2か所です。
- 12) CyPos閲覧画面に「いいね」ボタンがあります。賛同の意を表すボタンです。賛同者のお名前は表示されません。
- 13) CyPos閲覧画面のスケジュール登録と総合プログラムアプリのお気に入りの同期は行っておりません。
- 14) イメージインタープリテーションで使用する画像をWeb配信いたします。事前に閲覧することが可能ですので総会ホームページよりご確認ください。
- 15) iPadやAndroidなどタブレット端末でのCyPos閲覧はできません。

シンポジウム、教育講演など専門医単位取得についての注意書き

- ・学会参加登録受付(展示ホールA)を行う前にJRSマークの講義を受講しても、単位は付与されません。必ず学会参加登録後に受講してください。
- ・カードリーダーでの登録可能時間は下記のごとくです。
 - 入室時：講演開始前15分から講演開始後15分後まで(計30分)
 - 退室時：講演終了後から(講演終了前の退室は認められません)
- ・JRSマークのついたシンポジウムに対しては1ないし2単位が付与されます。単位数については専門医機構によって決定されます。
- ・専門医単位の認定は専門医機構が行うため、事故や急病などで受講できなかったものを総会で認定することはできません。
- ・JRSマークのついたシンポジウムは混雑が予想されるため、時間に余裕をもって移動してください。
- ・幾つかの講演ではサテライトがあり、同部での受講も中継元に準じて単位が認定されます。人気のある講演は部屋ごとの定員に制限があるため、入室ができない可能性があります。サテライト会場でも単位認定がされますので、サテライトでの視聴も考慮してください。
- ・長時間の起立が困難なハンディキャップをお持ちの方および座長・演者向けにファストレーンおよび最前列の優先席を設置することになりました。ただし、数に限りがあり、利用には予め学会ホームページでの登録が必要になります。
- ・混雑のため再入室の際、非常に時間がかかる場合や再入室できない場合があります。同じ部屋で連続して受講する場合も退室の際には必ず荷物を持って退室ください。
- ・総会で取得できる専門医単位の上限は12単位(領域講習と共通講習の合算数)です。13単位目以上は切り捨てになりますのでご注意ください(必須講習の単位は優先的に付与)。
- ・詳細および最新情報については学会ホームページも参照ください。

ご案内

A. 受付

総合受付 展示ホールA

受付時間 4月11日(木) 11:00~18:00※

4月12日(金) 7:15~17:00

4月13日(土) 7:15~17:00

4月14日(日) 7:15~15:00※

※専門医に関する受付(終了時間):11日 17:00, 14日 14:00までとなります

名誉会員・学会員・非会員(賛助会員含む)の皆様へ

1. 参加登録費(名誉会員・学会員:13,000円, 非会員(賛助会員含む):20,000円)をお支払いの上, ネームカードをお受け取りください。なお, クレジットカードはご利用いただけませんので, 現金をご用意ください。
2. 事前登録はありません。
3. 会期中はすべての会場で, 常時ネームカードの着用が必要となります。
4. ネームカードは紛失されても再発行いたしません。十分ご注意ください。
5. 海外からの参加者(非会員)の皆様は展示ホール内Overseas Registrationへお越しください。

初期臨床研修医・学生の皆様へ

1. 参加登録費は1,000円です。
2. 「学生」とは, 医学部医学科在籍の方で, 大学院生は該当しません。
3. 初期臨床研修医は, 第78回日本医学放射線学会総会ホームページの“研修医・学生の方へ”の中にある「研修医参加申請書」をダウンロードし, 必要事項を記載した上で, 学会参加当日に持参してください。学生は学生証を必ずご持参ください。
4. 参加証明書が必要な方には, 日本医学放射線学会事務局受付にて交付いたします。
5. 研修医向けセミナーを4月13日(土)に開催いたしますので, ぜひご参加ください。
6. 学会期間中, 展示ホールにて最新の放射線医療機器展示が行われます(ITEM2019)。ぜひお立ち寄りください。すべての会場への入場にはネームカードが必要です。

外国人留学生の皆様へ

1. 参加登録費は無料です。
2. 留学先の施設長または指導責任者発行の在学証明書が必要です。
3. 参加証明書が必要な方には, 日本医学放射線学会事務局受付にて交付いたします。

B. 総会参加単位の取得、学会認定必須講習会や機構認定専門医共通講習および領域講習受講による単位取得について(学会専門医更新用と機構専門医認定用や移行用を兼ねる)

全て「会員ICカード」で単位取得登録が可能です。「会員ICカード」を忘れずにご持参ください。

1. 総会参加単位取得登録の手順

- ①参加受付で参加登録費を支払う
- ②ネームカードが発行される
- ③専門医取得者はネームカードを持って日本医学放射線学会事務局受付へ
- ④「会員ICカード」で専門医単位取得登録を行うことで, 学会認定分と機構認定分両者の参加単位が登録される
- ⑤「会員ICカード」を忘れた場合は仮カードの発行を行うので, その手続きが必要となります(まだ「会員ICカード」を受け取っていない場合は日本医学放射線学会事務局へ申し出ること)

2. 学会認定必須講習会と出席証明書(学会専門医更新用)

平成25年度の「放射線科専門医認定試験」受験および「放射線診断専門医」、「放射線治療専門医」資格更新から講習会出席証明書の提出が義務づけられています。22ページ上の表を参考に、必要な講習会を受講してください。

※「会員ICカード」による専門医単位取得および出席証明手続きには講習会の入室時と退室時の両方でカードリーダー登録をする必要があります(P23参照)。

下記を参考に、必要となる講習会を受講してください。

新講習科目	旧講習科目	放射線科専門医 受験資格	診断専門医 更新認定	治療専門医 更新認定
医療安全・放射線防護	安全管理1, 2 (旧被ばく・管理)	○	○	○
医療倫理	(新規)	○	○	○
医療の質：診断 (品質の管理・IT・遠隔画像)	医療の質(旧IT) 遠隔画像診断	×	○	×
医療の質：治療 (品質管理・ガイドライン・ 標準治療)	(新規)	×	×	○

○：必要， ×：不要 診断専門医：放射線診断専門医， 治療専門医：放射線治療専門医

開催予定については、日本医学放射線学会ホームページの「専門医制度」から「必須講習会・指導医講習会」を選択してご確認ください。

3. 機構認定専門医共通講習(必修)と機構認定領域講習の受講単位取得(機構専門医認定および移行用)

機構認定の専門医認定・更新に関しては、領域別の講習会の受講による単位取得が必要になります。各教育講演、シンポジウムに参加することによって、記載されたポイントを得ることができます。ただし、遅れての参加や、途中退室は単位認定されませんので、気をつけてください。参加の確認は日本放射線学会会員ICカードで行いますので、必ずご持参ください。忘れた方は、仮カード発行し対応いたします。

※「会員ICカード」による専門医単位取得および出席証明手続きには講習会の入室時と退室時の両方でカードリーダー登録をする必要があります(P23参照)。

C. ランチョンセミナー

3日間開催いたします。

1. ランチョンセミナーは、整理券をお持ちの方から優先的に聴講いただけます。
2. 整理券は、開催当日の7:15より11:45まで会議センター1階およびアネックスホールにて先着順に発券いたします。(無くなり次第終了)
3. 整理券の発行は、お一人様1枚に限らせていただきます。
4. 整理券の有効期限はセミナー開始時刻より10分後となりますので、予めご了承ください。
5. ランチョンセミナー開始10分後の時点で空席がある場合は、整理券をお持ちでない方も入場いただけます。

D. イメージ・インタープリテーション・セッション

日時：4月13日(土) 17:00~19:00

会場：メインホール

今回は使用する症例の画像をWeb配信いたします。事前に閲覧することが可能ですので総会ホームページよりご確認ください。症例の画像はメインホールホワイエでも閲覧可能です。4月13日(土)12:00までにWeb上

もしくは紙により解答を投票してください。投票箱もメインホールホワイエに設置します。症例閲覧用ならびに投票用ホームページに関しては、日本医学放射線学会ホームページならびにJRS2019アプリでお知らせいたします。

成績優秀者の発表は4月13日(土)本セッション終了直後よりメインホールで行いますので、応募した会員はご出席ください。

解答集は日本医学放射線学会ホームページ会員専用ページにて掲載いたします。

E. 合同会員懇親会

下記のとおり開催いたしますので、皆様お誘いあわせのうえご参加ください。

日 時：4月12日(金) 18：15～19：30

会 場：横浜ベイホテル東急 B2F クイーンズグランドボールルーム

参加費：無料 ※参加の際、ネームカードの着用が必須となります

F. 発表会場内では以下のことを禁止します

●発表スライド等の写真撮影(携帯端末を含む)や発表内容のビデオ撮影、録音を行うこと。

ただし、雑誌等の取材や広報などのために、事前にJRC事務局の承諾を受けたものについては、この限りではありません。該当する方には当日展示ホールAにあるPRESS(受付)で専用の腕章を貸与いたしますので、受付をしてください。

G. 利益相反報告について

発表時にはすべての発表者に利益相反の開示が義務づけられます。総会ホームページまたは日本医学放射線学会ホームページより、発表用のPowerPointスライドをダウンロードしてそれを用いてください。日本医学放射線学会のホームページに「規定」と「細則」が示されていますので参照してください。

H. 会場内のWiFi環境について

パシフィコ横浜館内(アネックスホールを含む)は、講演会場内を除き、全フロアでWiFiに接続できます。パスワードはかかっておりませんので【FREE-PACIFICO】に接続してください。

ITEM会場内のWiFiにつきましてはパスワードが必要です。会場内掲示にてご確認ください。

I. 託児所について

横浜ベイホテル東急にあるキッズスクウェアをご用意しております。詳細やお申込み方法は総会ホームページの「託児ルーム」をご参照ください(費用の一部補助あり)。

J. 羽田空港行きシャトルバスについて

4月14日(日)16：15から3台、羽田空港行きのバス(無料)を運行します。閉会式終了後に、出発いたします。整理券はありませんので、無料シャトルバスのりば(会議センター1階正面玄関前)までお越しく下さい。なお2台目以降の出発時刻につきましては満席になり次第となりますのでご了承ください。

K. 座長・司会者へのご案内

1. セッション開始15分前までに各会場内の次座長席までお越しください。
2. 一般演題(口演)については1題あたり発表7分、討論3分です。一般演題(電子ポスター)については1題あたり発表4分、討論3分です。
3. 発表終了1分前に黄色ランプ、また、発表終了時刻に赤ランプで、それぞれお知らせいたします。

4. 進行は座長・司会者に委ねますので、セッションの終了時刻を厳守してください。
5. 本総会では座長・司会者紹介のアナウンスは入りませんのでご了承ください。

L. 発表者へのご案内

- ・発表時にはすべての発表者(シンポジウム・教育講演・一般演題等すべてを含む)に利益相反の開示が義務づけられます。日本医学放射線学会ホームページより発表用のPowerPoint スライドをダウンロードしてお使いください。スライドは2枚目に挿入ください。
- ・プログラムによって発表データの登録方法が異なります。次項の「1. 一般演題発表者へ」または「2. 講演者(一般演題を除く)へ」をご確認ください。
- ・セッションの始まる15分前には会場内の次演者席にお越しください。
- ・会場内ではデータの修正はできませんので、予めご了承ください。
- ・演題のモニターに表示されているご自身の氏名をクリックして、発表を開始してください。演台にパット・マウスがありますので、発表時の操作はご自身で行ってください。
- ・発表スライドのファイルは、PCプレビューセンターまたは事前登録用のサーバに一時保存いたしますが、これらのファイルは本総会終了後、責任をもって廃棄します。

1. 一般演題発表者へ

- 1) 電子ポスターのスライドは2月1日(金)正午～3月1日(金)正午までに事前登録してください。対象となる発表形式は一般演題(電子ポスター)・教育展示・実機展示です。
- 2) 一般演題(口演)、一般演題(電子ポスター)におけるご発表データについては、3月8日(金)正午～4月5日(金)正午までの間にWeb上で事前登録してください。なお、全く同じデータの場合でも、必ずどちらのシステムにもご登録ください。
- 3) ご発表データの事前登録後、オンラインプレビュー画面で必ずスライドの確認を行ってください。登録期間中は、何度でも修正登録、プレビューが可能です。
- 4) 事前登録およびプレビューが完了した後は、当日にPCプレビューセンターでデータを確認していただく必要はありません。直接会場にお越しください。
- 5) 原則として、事前登録期間終了後(会期中も含む)は、データの差換えや修正はできません。
- 6) 詳細については、演題登録時にご登録いただいたメールアドレス宛にご案内をお送りします。また、第78回日本医学放射線学会総会ホームページの【発表スライド事前登録】でもご案内しておりますので、ご確認ください。
- 7) 発表時間を守ってください。

一般演題(口演)	発表7分、討論3分
一般演題(電子ポスター)	発表4分、討論3分
- 8) 映写トラブルによる時間延長は認めません。ご自身の発表時間内にすべてが終了するよう、対処してください。

2. 講演者(一般演題を除く)へ

- 1) データをお持ち込みの方
 - ① 発表の60分前までにPCプレビューセンターにて発表データを確認してください。プレビューセンターにはオペレーターが待機しております。動画や音声をご使用になる場合は、データ登録の際に必ずお知らせください。
 - ② お持ち込みいただけるメディアは以下のとおりです。データについてはWindowsのみとし、USBフラッシュメモリのメディアにてご持参ください(CD-R(W)、DVD-R(W)は不可)。データの容量は最大512MBまでとさせていただきます。

※Macintoshで講演データを作成される方は、ご自身のPCをお持ち込みください。

- ③ 会場ではPowerPointをインストールしたWindows PCを用意します。使用できるPowerPointのバージョンは、2007～2016です。
- ④ 講演に使用するPCはすべてXGA(1,024×768)に統一してありますので、ご使用のPCの解像度をXGAに合わせてからレイアウトの確認をしてください。
- ⑤ ファイル名は「演題番号_演者名」(例：01001_発表太郎)としてください。
- ⑥ 動画などの参照ファイルがある場合は、すべてのデータを同じフォルダに入れてください。
Windowsの場合 Windows7(OS)およびWindows Media Player 11の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。(動画ファイルはWMV形式を推奨します。)
- ⑦ メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。
- ⑧ 講演データ作成後、作成したパソコン以外のパソコンで正常に動作するかチェックしてください。
- ⑨ 試写が終了しましたら、データはLAN回線を経由して、ご発表会場まで転送されます。

2) PC本体をお持ち込みの方

- ① PC持ち込みの場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることをPCプレビューセンターで必ずご確認ください。会場では「D-sub15ピン(ミニ)」のケーブルを用意しています。一部のノートパソコンでは、変換コネクタが必要になる場合がございますので、ご確認の上、必ず各自ご持参ください。
- ② バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参ください。再起動することがありますのでパスワード入力不要で設定してください。出力端子がD-sub15ピン(ミニ)でないものは、接続アダプターをご持参ください。
- ③ 画面サイズ(解像度)は、XGA(1,024×768)としてください。
- ④ この環境で画面のすべてが不具合無く表示されることを予めご確認ください。
- ⑤ スクリーンセーバー、省電力設定については、予め解除をお願いします。

3) 発表者ツール

- 1) データをお持ち込みの方も、2) PC本体をお持ち込みの方も発表者ツールの使用が可能です。PCプレビューセンターでオペレーターにお申し付けください。

M. CyPos閲覧のご案内

1. 事前閲覧について

- 1) 事前閲覧は行いません。

2. 会期中の閲覧について

1) 閲覧

CyPosシステムには、一般演題(電子ポスター)・教育展示・実機展示発表および日本医学放射線学会と交流のある海外諸学会の優秀演題が登録されています。会期中、国立大ホール1階マリンロビーに用意されているパソコンで閲覧ができます。また、会場内のWiFiエリアや会場外から、インターネットを通じてご自身のパソコンでCyPosを閲覧することも可能です。

2) 手順

パソコンに設定されたトップページから日本医学放射線学会のボタンを選ぶと、ログインID/パスワードが要求されます。ネームカードに印刷されているものを入力してください。

3) 一覧・検索

- ・分野別の検索は、演題申込み時の発表区分に従って表示されます。
- ・すべての演題が、演者氏名・所属、演題データ全文で検索できます。
- ・キースライドビューを選択すると演者が選択した3枚のスライドが閲覧できます。

4) その他機能

- ・「いいね」ボタンがあります。賛同の意を表すボタンです。賛同者のお名前は表示されません。
- ・演者が公開を承認した演題に限り、会期後PDFでダウンロードができます。ただし、著作権保護の観点から、画像の解像度は低くなりますのでご了承ください。

3. 会期後の閲覧について

- 1) 参加登録者に限り、CyPosの事後閲覧ができます[期間：4月14日(日)15時～4月30日(火)正午]。第78回日本医学放射線学会総会ホームページから閲覧できます。
- 2) 事後閲覧の承諾がされていない演題につきましては閲覧できませんのでご了承ください。
- 3) ネームカードに会期後の閲覧方法(CyPosアクセス用URL, ID, パスワード)が記載されています。こちらに従ってアクセスしてください。

N. 各種委員会・会議のお知らせ

4月11日(木)

- ・理事会 11：00～13：30 (東急横浜ベイホテル)
- ・代議員会 14：00～16：30 (会議センター3階301)

4月12日(金)

- ・日独放射線交流計画(GJRA)幹事会 7：30～ 8：30 (会議センター2階211)
- ・広報委員会 12：00～13：00 (会議センター3階316)
- ・保険委員会 12：00～13：00 (会議センター4階411)
- ・QIBA(定量画像の標準化委員会) 12：00～13：00 (会議センター4階412)
- ・編集委員会 12：00～13：00 (会議センター4階413)
- ・造影剤安全性委員会 16：00～17：00 (会議センター3階311)
- ・教育委員会 16：00～18：00 (会議センター4階411)
- ・J-MID関連会議 16：50～18：00 (会議センター2階211)

4月13日(土)

- ・電子情報委員会 9：00～10：00 (会議センター4階413)
- ・ダイバーシティ推進・働き方改革検討委員会 9：30～10：30 (会議センター3階316)
- ・電子情報研究会・日本医用画像人工知能研究会世話人会 10：00～11：00 (会議センター4階413)
- ・学術・研究委員会 12：00～13：00 (会議センター3階316)
- ・放射線安全管理委員会 15：00～16：00 (会議センター4階423)
- ・医用画像人工知能委員会 15：30～16：30 (会議センター4階411)
- ・放射線科専門医制度委員会 16：00～18：00 (会議センター4階413)

4月14日(日)

- ・画像適正使用委員会 8：00～ 9：00 (会議センター4階422)
- ・診療・ガイドライン委員会 12：00～13：00 (会議センター4階411)

第78回日本医学放射線学会総会実行委員会 当日本部
パシフィコ横浜 会議センター2階 213

第78回日本医学放射線学会総会実行委員会
〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
熊本大学大学院生命科学研究部放射線診断学分野
TEL: 096-373-5261 FAX: 096-373-5342
E-mail : jrs78@convention.co.jp